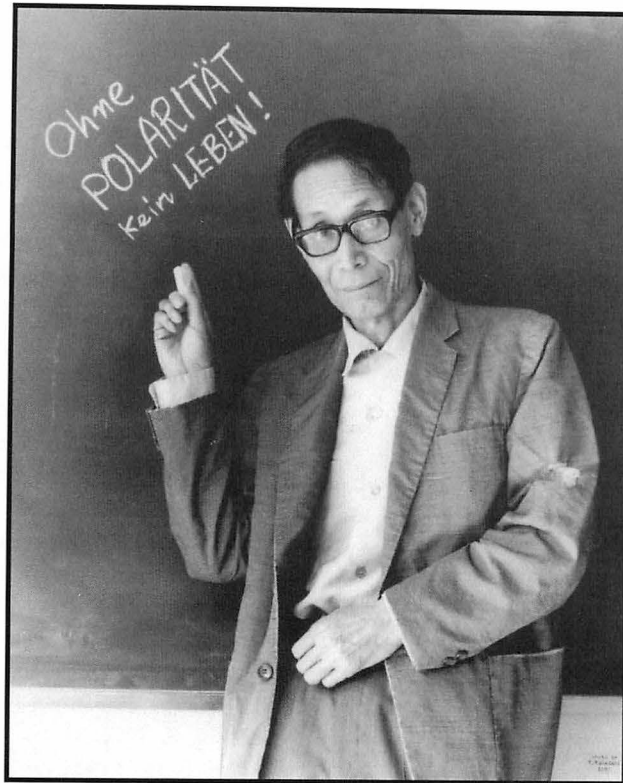


嗟峨直恆¹・山崎 裕²・安部 守³：中澤信午先生の御逝去を悼む



山形大学名誉教授中澤信午先生は平成14年(2002年)5月4日に多臓器不全のため、京都市において逝去された。享年83歳であった。

中澤先生は大正7年(1918年)5月17日新潟県南魚沼郡塩沢町に生まれ、昭和16年(1941年)3月に宇都宮高等農林学校を卒業、同年4月東北帝国大学理学部生物学科に入学、昭和18年(1943年)に同大学を卒業した。その後、当時の第2次世界大戦の兵役に招集され、中国浙江省に従軍、昭和19年(1944年)両足に砲弾の破片を受け負傷し現地の陸軍病院に入院、昭和20年(1945年)内地送還、終戦を4ヵ月後にひかえた4月に兵役免除となった。同年5月母校の副手として勤務され、昭和24年(1949年)4月から昭和26年(1951年)7月まで大学院生として研究に従事された。昭和26年(1951年)8月山形大学文理学部に助教授として赴任、同校理学部教授を経て、昭和59年(1984年)同校を定年退官し、同校名誉教授とられた。退官後は、御家族の方々と共に京都市に移住され、残された御研究の整理をなされながら文筆活動の毎日であったという。

中澤先生は東北帝国大学田原正人教授のもとで、海産褐藻ヒバマタ目植物の発生、特にフシスジモク未受精卵の単為発生に関する研究や同種の受精卵の仮根極の決定に関する研究を行った。

山形大学に赴任されてからは、ヒバマタ、ホンダワラ、スギモク等ヒバマタ目植物の受精卵やスギナ等シダ植物の胞子を材料として用いた細胞分化と形態形成における極性の役割をテーマとした一連の研究を開始された。本研究は山形大学

を退官されるまでの三十余年に渡り精力的に行われ、先生のライフワークとなるものであった。

上記の研究を行うかたわら、1970年頃からは、淡水産緑藻のマリモに興味をもたれ、国内各地および、ツェラー湖をはじめとした海外マリモの分布や生態、そして、マリモ球状体の形成に関する研究を行った。また、遺伝学の開祖メンデルに興味をもたれ、メンデル自身、そしてメンデルに縁のある地域や人々に関する調査研究を始められ、遺伝学の揺籃期の科学史に関する多くの著作も残された。

先生は生物学研究の他、幅広い特技や趣味をお持ちになり、とくに、作詞・作曲や超常現象にはことのほか興味を示された。前者に関しては、楽曲十数編を有し、なかんずく「メンデル広場」と題する楽曲は、メンデルの生地ブルノにある旧ブルノ修道院(現メンデル記念館)に捧げられた。また、本曲はラジオを通じてチェコスロバキア全土に放送され、好評を博したという。後者に関しては、超常現象学者福来友吉博士のよき理解者・支援者として第2次世界大戦中受難にあわれた福来博士のお世話をなさり、仙台にあった福来記念館の設立にも御尽力をなされたという。

先生はまた海外旅行にもよくお出かけになり、とくにヨーロッパを好まれた。以下、先生のヨーロッパ旅行へ本文著者の一人である山 が随行した際の先生の印象を述べる。

1989年10月5日、列車がツェル・アム・ゼーの駅に静かに停車すると、先生は扉を開き、「さあ！」と言って勇んでプラットフォームに降り立った。先生にとって五度目のツェラー

湖訪問である。旅行鞆を手荷物一時預かり所に依頼し、二人は湖にむかった。駅舎を出て、眼前に展開するアルプスの美しい景色と今尚チロリアンスタイルをまとっている人々の姿に山はしばし見とれていたが、先生はいつもの前傾姿勢で足早に湖畔を目指した。湖畔をめぐる小径は、夏休みを楽しむ人々や遊覧船を待つ観光客で賑わっていたが、先生はそれらを横切り、すべるようにして土手を下り水際に立った。掌をかざすようにして対岸を見つめ、背広のポケットから取り出した小さな手帳に何かを書き込んだ。先生は日常から記載を重んじていたようだ。何かを発見すると、また思いつくと、すぐさま記録した。遺品として残されたそれら手帳の冊数は膨大な量にのぼる。生物学関連のものに限っても三百編を超える著作は、この記載に裏付けられていたのであろう。

先生はズボンの裾を折り上げ靴とソックスを脱ぎ、自ら湖水に踏み込んだ。そして水を掬い取り、匂いを調べたり、小石を拾い出して小さなルーペで観察した。「水がきれいになったなあ…、これはクラドフォーラかも知れませんね。」と呟きながら手帳に記載した。つぎに先生は内ポケットから小さなペンタイプの温度計を取り出して、眼鏡を持ち上げ目を細めながら水温を読み取った。さらに先生のポケットからはpH試験紙が出てきた。「水がきれいになりましたねえ…」、ふたたび嬉しそうに呟き、先生はそれも記載した。美しいチロルの湖を背景にして、この東洋人二人の生物学調査は奇行に他ならなかったであろう。山形大学時代に先生は「怪人」あるいは「奇人」と呼ばれていた。しかし先生は、生活時間のフルタイムを、科学者として過ごされただけであったと思う。

調査を終えた二人は駅舎に引き返し、昼食を摂った。先生は手帳を取り出し、この場所で以前レンズ・ズッペを注文したことを話された。しかしそれはラインアップされておらず、ヌーデル・ズッペとなった。それは日本人にとっては十分以上の質量であったが、先生は思いつかれたように「これも食べよう！」といて、追加注文をされた。しばらくして巨大な肉団子が二つ浸ったスープが二皿登場した。先生は、「これはクネーデル・ズッペです。そしてマリモはゼー・クネーデル。」と笑顔で教えてくださった。満腹の後の巨大なクネーデルはかなりの負担であった。しかし淡白で絶妙な味覚はそれをも凌駕してくれた。

このツェラー湖訪問にはもう一つの目的があった。中公新書から出版された著書「マリモはなぜ丸い・その生態と形態」を、調査協力者である観光案内所職員ヨハン・ハース氏に進呈することである。先生は邦文である著書を進呈するにあたって、要約を数枚の英文（あるいは独文であったかも知れない）でタイプライトし準備していた。しかし残念なことにハース氏は夏休暇をとって不在であった。先生は著書を受付嬢に託すと同時に、小さな京都小物のお土産と五円玉を取り出した。穴あきコインの五円玉は欧州では珍しいものらしく、突然のオリエンタルなプレゼントに彼女は大喜びであった。先生は科学者であると同時に、常におもいやりを忘れることがなかった。人を楽しませること、それは最高の敬意である。先生はジェントルマンであった。

最後に中澤先生の主要な業績を紹介し、心から御冥福をお祈りする。

主要業績目録

- 中澤信午 1955. 差次圧迫によるスギモク卵の極性決定. 藻類 3 : 11-16.
- Nakazawa, S. 1953. Abnormal eggs from *Coccophora* with special interests in the origin of half embryos. Bot. Mag. Tokyo 68 : 232-234.
- 中澤信午 1956. ウミトラノヲの薬効. 藻類 4 : 95-97.
- 中澤信午 1956. スギモクの幼胚におけるリポイドの分布. 藻類 4 : 42-45.
- 中澤信午 1956. ヒトデの毒素によるスギモク卵の差次崩壊. 藻類 4 : 52-55.
- 中澤信午 1957. 極性の本質について. 生物科学 9 : 67-70.
- Nakazawa, S. 1957. Developmental mechanics of fucaceous algae II. Vital staining of centrifuged *Coccophora* eggs. Bot. Mag. Tokyo 70 : 1-3.
- Nakazawa, S. 1957. Developmental mechanics of fucaceous algae III. Differential permeability in *Fucus* eggs. Bot. Mag. Tokyo 70 : 58-61.
- Nakazawa, S. 1957. Developmental mechanics of fucaceous algae IV. Morphogenetic movement of *Coccophora* eggs. Bot. Mag. Tokyo 70 : 81-85.
- Nakazawa, S. 1957. Vital staining and mechanical inversion of *Volvox*. Protoplasma 48 : 425-428.
- Nakazawa, S. 1958. Developmental mechanics of fucaceous eggs VIII. Blister formation in some furoid eggs. Bot. Mag. Tokyo 71 : 23-25.
- Nakazawa, S. 1958. Developmental mechanics of fucaceous eggs IX. Fates of the abnormally cloven *Coccophora* egg. Bot. Mag. Tokyo 71 : 53-56.
- Nakazawa, S. 1958. The predetermined polarity in *Porphyra* monospores shed from *Conchocelis-thalli*. Bot. Mag. Tokyo 71 : 144-150.
- Nakazawa, S. 1958. Developmental mechanics of fucaceous algae X. Structure of the mucilage surrounding *Coccophora* eggs. Bot. Mag. Tokyo 71 : 242-245.
- Nakazawa, S. 1958. Developmental mechanics of fucaceous algae XI. Liberation of small bodies in *Coccophora* eggs. Bot. Mag. Tokyo 71 : 343-346.
- Nakazawa, S. 1958. Protoplasmic polarity as a groundwork for genic actions. Protoplasma 50 : 208-211.
- Nakazawa, S. 1958. TTC reduction and neutral red demixing in *Polysiphonia* cells. Protoplasma 50 : 212-216.
- Nakazawa, S. 1959. Mitochondria diminution in hypertrophied *Equisetum* spores. Bot. Mag. Tokyo 72 : 23-26.
- Nakazawa, S. 1959. General mechanism of the polarity determination in some furoid eggs. Naturwissenschaften 46 : 333-334.
- Nakazawa, S. 1959. Developmental mechanics of fucaceous algae XII. Further studies on the blister formation in furoid eggs. Protoplasma 51 : 123-126.
- Nakazawa, S. & Tsusaka, A. 1959. Appearance of "metallophilic cytoplasm" as a prepattern to the differentiation of rhizoid in fern protonema. Cytologia 24 : 378-388.
- Nakazawa, S. 1959. Developmental mechanics of fucaceous algae XIV. Plasmolysis pattern in *Coccophora* eggs. Bot. Mag. Tokyo 73 : 51-54.

- Nakazawa, S. & Tsusaka, A. 1959. Special cytoplasm detectable in fern rhizoids. *Naturwissenschaften* 46 : 609-610.
- Nakazawa, S. 1960. Morphogenesis of the fern protonema II. Modification of the apical differentiation in *Dryopteris* affected by IAA. *Protoplasma* 52 : 1-4.
- Nakazawa, S. 1960. Nature of the protoplasmic polarity. *Protoplasma* 52 : 274-294.
- Nakazawa, S. 1960. Dissociation of animal tissues by a toxic substance obtained from starfish. *Naturwissenschaften* 47 : 327-328.
- Nakazawa, S. 1960. Developmental mechanics of fucaceous algae XV. Effects of ultracentrifuging at later stages upon the development of *Coccophora* eggs. *Bot. Mag. Tokyo* 73 : 447-452.
- Nakazawa, S. 1960. Cytodifferentiation patterns of *Dryopteris* protonema modified by some chemical agents. *Cytologia* 25 : 352-361.
- 中澤信午 1960. スギモクの卵割における皮部細胞質分化の役割. 藻類 8 : 108-111.
- Nakazawa, S. 1961. Dynamics of morphogenetic fields. *Protoplasma* 53 : 76-80.
- Nakazawa, S. 1961. Developmental mechanics of fucaceous algae XVII. Differential destruction of the cortical layer of cytoplasm in ultracentrifuged *Coccophora* eggs. *Bot. Mag. Tokyo* 74 : 1-5.
- Nakazawa, S. 1961. Developmental mechanics of fucaceous algae XVIII. Localization of protoplasmic elements in the developing rhizoid. *Bot. Mag. Tokyo* 74 : 161-164.
- Nakazawa, S. 1961. After the origin of life. *Acta Biotheoretica* 14 : 29-42.
- Nakazawa, S. & Ootaki, T. 1961. Polarity reversal in *Dryopteris* protonema. *Naturwissenschaften* 48 : 557-558.
- Nakazawa, S. 1961. Developmental mechanics of fucaceous algae XIX. Negation to the presence of polar cyto-skeletal systems in the endoplasm of *Coccophora* eggs. *Bot. Mag. Tokyo* 74 : 431-435.
- 佐藤孝子・中澤信午 1961. 海藻細胞膜の複屈折. 藻類 9 : 62-65.
- Nakazawa, S. 1962. Developmental mechanics of fucaceous algae XX. Gradients in susceptibility for excessive calcium ions in *Coccophora* and *Fucus* eggs. *Bot. Mag. Tokyo* 75 : 465-472.
- Nakazawa, S. 1963. Polar blister formation in furoid eggs. *Naturwissenschaften* 50 : 311.
- Nakazawa, S. & Kimura, S. 1964. Reduction of TTC and Janus green B in fern gametophytes in relation to polarity. *Bot. Mag. Tokyo* 77 : 222-227.
- 中澤信午 1964. フークス卵における RNA の分布. 藻類 12 : 47-50.
- 中澤信午 1964. 植物形態学的一般問題. 生物科学 16 : 105-109.
- 中澤信午 1965. Fucales ノート(1). 藻類 13 : 8-12.
- Nakazawa, S. & Tanno, N. 1965. Concentration gradients of RNA in fern protonema in relation to m-RNA. *Naturwissenschaften* 52 : 457.
- Nakazawa, S. 1966. Regional concentration of cytoplasmic RNA in *Fucus* eggs in relation to polarity. *Naturwissenschaften* 53 : 138.
- Nakazawa, S. & Takamura, K. 1967. An analysis of rhizoid differentiation in *Fucus* eggs. *Cytologia* 32 : 408-415.
- Nakazawa, S. & Tanno, N. 1967. Estimation of messenger RNA in fern gametophytes. *Cytologia* 32 : 216-223.
- 中澤信午 1968. Fucales ノート(3). *Fucus* 卵の仮根突起における細胞壁の新生. 藻類 16 : 68-70.
- Nakazawa, S. & Kimura, S. 1968. Growth patterns of fern gametophytes with colchicines and sulfhydryl groups. *Bot. Mag. Tokyo* 81 : 575-581.
- 中澤信午 1968. Jacob-Monodモデルから導かれる一つの系. 発生生物学誌 22 : 35-36.
- Nakazawa, S., Takamura, K. & Abe, M. 1969. Rhizoid differentiation in *Fucus* eggs labeled with calcofluor white and birefringence of cell wall. *Bot. Mag. Tokyo* 82 : 41-44.
- 中澤信午 1968. Fucales ノート(4). 藻類 17 : 42-47.
- 中澤信午 1969. Fucales ノート(5). 藻類 17 : 122-125.
- Nakazawa, S. 1969. Rhizoid formation of *Fucus* eggs under irregular rotation. *Naturwissenschaften* 56 : 642.
- Nakazawa, S., Abe, M. & Caldwell, M. J. 1970. Polarity determination in *Fucus* eggs by localized exposure to RNase. *Bot. Mag. Tokyo* 83 : 325-329.
- 中澤信午 1972. Fucales ノート(6). ヒバマタ卵の発生形態変異. 藻類 20 : 59-63.
- 中澤信午 1973. ツェラー湖のマリモについて. 藻類 21 : 76-77.
- 中澤信午・安部 守 1973. 藻類の人工球化. 藻類 21 : 53-56.
- Nakazawa, S. 1973. Artificial induction of lake balls. *Naturwissenschaften* 60 : 481.
- 中澤信午 1974. ツェラー湖におけるマリモ絶滅の時とその原因. 藻類 22 : 101-103.
- 中澤信午・嵯峨直恒 1974. Fucales ノート(7). 一方照射によるエゾイシゲ卵の極性決定. 藻類 22 : 1-5.
- 中澤信午 1975. ハネモの再生極性. 藻類 23 : 139-143.
- Nakazawa, S. 1977. Development of *Fucus* eggs as affected by iodine, lithium and nitroprusside. *Bull. Jpn. Soc. Phycol.* 25(suppl.): 215-220.
- 中澤信午 1977. Fucales ノート(9). ヒバマタ卵の第1分裂面と仮根形成との前後関係の識別. 藻類 25 : 24-26.
- Nakazawa, S. 1978. Notes on Fucales 10. Inhibition of rhizoid formation and cell division by gossypitrin in *Fucus* eggs. *Jpn. J. Phycol.* 26 : 5-7.
- Nakazawa, S. & Yamazaki, Y. 1982. Cellular polarity in root epidermis of *Gibasis geniculata*. *Naturwissenschaften* 69 : 369.
- 中澤信午 1983. マリモの各種言語名. 藻類 31 : 104.
- Nakazawa, S. 1983. Cellular polarity : Proposal of the new term "intracellular polarity vector" as the component of cellular polarity. *Cytologia* 48 : 869-872.
- Nakazawa, S. & Hanaya, K. 1984. Differential localization of gossypitrin and herbacitrin in *Equisetum* sporelings. *Cytologia* 49 : 883-887.

(¹北海道大院・水産科学, 041-8611 函館市港町 3-1-1,
²東北芸術工科大・教養, 990-9530 山形市上桜田 200,
³山形大・理・生物, 990-8560 山形市小白川町 1-4-12)